



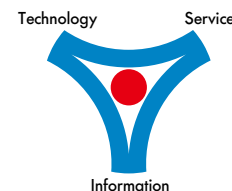
AGRI PARTNER 会社案内

わたくしたちは アグリパートナーです。



東洋農機株式会社

本 社	〒080-2462 北海道帯広市西22条北1丁目2番5号 電話/0155-37-3191 FAX/0155-37-5399
小 清 水 営 業 所	〒099-3641 北海道斜里郡小清水町元町1丁目13番11号 電話/0152-62-2309 FAX/0152-62-3917
美 幌 営 業 所	〒092-0027 北海道網走郡美幌町字稲美220番地14 電話/0152-73-4158 FAX/0152-73-4150
美 瑛 営 業 所	〒071-0215 北海道上川郡美瑛町扇町232番40 電話/0166-92-1368 FAX/0166-92-1369
三 川 営 業 所	〒069-1144 北海道夕張郡由仁町本三川674番地 電話/0123-86-2436 FAX/0123-86-2953
倶 知 安 営 業 所	〒044-0077 北海道虻田郡倶知安町字比羅夫60番地1 電話/0136-22-2236 FAX/0136-22-3992
芽 室 セ ン タ ー	〒082-0017 北海道河西郡芽室町東7条10丁目1番1 電話/0155-62-2633 FAX/0155-62-3739
士 幌 サービスセンター	〒080-1216 北海道河東郡士幌町字士幌西2線170 電話/01564-5-3506 FAX/01564-5-5770
豊 頃 サービスセンター	〒089-5235 北海道中川郡豊頃町中央若葉町14 電話/015-574-2887 FAX/015-574-3654



アグリパートナー

Best agri partner



TOP-1 CVF

お客様と結ぶ、信頼のパートナーシップ

機械をお使いになるお客様のことを思い完成度の高い製品を優れた技術と充実したサービスと共にお届け致します。

また、お客様のお悩みを迅速に解決し農業経営に役立つ情報も同時にご提供致します。

農業者の皆様の良きパートナーとして貢献させていただくことを誇りとして私たちの想いを「アグリパートナー」という言葉に込めております。



2015年 新組立・塗装工場をドローン撮影



2018年 国際農業機械展

ごあいさつ

東洋農機株式会社は明治42年に畜力用農機具の生産を始めました。以来、常にお客様の声に耳を傾け、「アグリパートナー」として農業機械の革新に取り組み、農業経営の発展と省力化に寄与して参りました。このことは、ひとえに多くの皆様のご支援の賜と社員一同深く感謝申し上げます。

近年の農業は「安心・安全」「海外との価格競争」など厳しい状況下に置かれています。農業機械に対しても「コストの削減」「環境への配慮」など、今まで以上に多様な要望が寄せられるところがあります。しかし、この事は当社に課せられた使命であると考えて、積極的に技術革新に取り組み、優れた製品とサービスの提供を通してお客様に貢献したいと考えております。

当社のモットーは「創造性」と「信頼性」をもって「お客様に貢献する」ことであり、全社一丸となつて、これまで培ってきた技術と熱意をもってご期待に応えられるよう努力を続けてまいります。

代表取締役社長 太田 耕二

創造性

Reserch and development



大型溶接ロボット

可能性の追求と挑戦し続ける力

開発設計部門では、3次元CADシステムを駆使し、新製品の開発や既存の農業機械の改良を行っています。農業機械の開発設計、改良にあたっては、お客様からの声やアンケート、意見交換会等での情報、更には圃場での実験データ等を最大限に活用しています。



大学や研究機関との連携

畑作農業機械メーカーとして長年にわたり培ってきた技術や経験が、公的機関との様々な連携やプロジェクトに活かされています。

大規模化への対応、精密農業への対応、環境保全への対応など様々な分野で実績を上げています。



JA研修会講師



信頼性

Technology and Trust



自動粉体塗装ライン

お客様一人ひとりに合った機械を生産

当社はお客様の多様なニーズにお応えするため、レーザー加工機をはじめとする最新の生産ラインを整備して、安全で効率的かつローコストな生産体制を確立しています。

ポテトハーベスタ、ブームスプレーヤ、ビートハーベスタなどの主力製品は使い手であるお客様のご要望にお応えするため、畑の土壌や地形などによって様々なアタッチメントを組み合わせ、一台一台お客様にあった機械を出荷しています。



マウントスプレーヤ生産風景

北海道発 全国へ 海外へ

当社は北海道内はもとより全国、海外のお客様のご要望にお応えする為、その地域特性に合わせた製品を開発し、農業者の皆様の生産性向上に寄与すべく各地に出荷しております。

北海道発の技術を全国、そして海外に発信しています。



上2点:インドでの作業風景:TPH179

下左:宮城県での作業風景:TPH179 下右:石垣島での作業風景:TSH2

お客様に貢献する

Customer Service

全道に展開する拠点ネットワーク

「お客様密着」「地域密着」を実現するため、道内各地に拠点を整備してお客様との信頼関係の構築に努めています。私たちのネットワークはお客様の声を製品に反映させ、地域の特性を仕様に折り込むためのものであり、様々なご要望にきめ細かくお応えすべく展開をしています。

万全なサポート体制

数千点に及ぶ補修部品の品揃え、各拠点に配置した熟練のサービスマンは機動力を活かして敏速な出動体制を整えております。シーズン毎に装備を替えるサービスカーはお客様へのアフターサービスに速やかに対応いたします。また、ウインターサービスにより機械使用後の整備を行い、シーズン最初から機械の性能をフルに発揮していただけるようお手伝いをしています。

情報発信

農業機械の利用技術は地域差が大きく、ハードな条件下での稼働データのフィードバックや情報交換、コンサルティングサービスは機械を供給するメーカーとして重要な役割だと考えています。

当社は「東洋農機ポテトハーベスタ会」をはじめ、各地で利用技術の講習会・意見交換会を実施し、様々な情報提供を通じて農業の生産性や機械の操作性向上に努めています。



工場見学



けん引スプレーヤ



●本社（帯広市）

■営業所：小清水営業所・美幌営業所

■美瑛営業所・三川営業所（由仁町）・倶知安営業所

▲芽室センター

▲サービスセンター：士幌サービスセンター

豊頃サービスセンター



ビッグフェア



本社事務所

会社概要

社名	東洋農機株式会社	代表取締役会長	山田 政功
所在地	〒080-2462 北海道帯広市西22条北1丁目2番5号	代表取締役社長	太田 耕二
電話	0155-37-3191	専務取締役 (全般・営業本部担当)	大橋 敏伸
FAX	0155-37-5399	常務取締役 (製造・開発本部担当)	光澤 英雄
設立	昭和42年4月1日（創業 明治42年2月）	常務取締役 (管理本部担当)	高橋 洋一
資本金	1億8,000万円	監査役	宮下 行雄
		監査役	太田 志津子（非常勤）

会社沿革

明治42年2月 山田農機具製作所創立

大正5年 太田農機具製作所創立

昭和42年4月 東洋農機株式会社設立（資本金1,000万円）

昭和51年4月 東京中小企業投資育成株式会社の資本参加により増資（1億3,000万円）

昭和53年11月 資本金を増資（1億8,000万円）

昭和54年1月 中小企業研究センター特別賞受賞

昭和55年 ポテトハーベスタTPH-7販売開始

平成5年2月 金網事業開始

平成8年11月 けん引スプレーヤ販売開始

平成9年10月 カーポート事業開始

平成10年3月 複合機（レーザー・タレパン・タッピング）導入

平成11年3月 プレスブレーキ導入

平成14年3月 レーザー加工機導入

平成14年8月 ポテトハーベスタ販売台数2000台突破

平成14年11月 ポテトハーベスタTOP-1販売開始

平成19年4月 「知財で元気な企業2007」選出

平成20年7月 「元気なモノ作り中小企業300社」選出

平成21年2月 創立100周年

平成21年11月 国産馬鈴薯新栽培システム販売開始

平成22年8月 ポテトハーベスタ販売台数4000台突破

平成24年11月 ストーンピッカー販売開始

平成27年 新組立・塗装工場 完成
自動粉体塗装ライン 導入
「ポテトハーベスタ販売台数 5000台突破」
レーザー加工機3号機、4号機 導入
スクリュープレス、マシニングセンタ、
ペンディングマシン、他省エネ先端設備導入

平成28年 大型溶接ロボット導入

平成29年 エコカッター（レーザー加工機2号機・4号機）導入

平成30年9月 溶接ロボットシステム導入（芽室工場）

平成30年12月 「地域未来牽引企業」選定

令和元年11月 ハイブリッドドライブバンダー導入